

8.5 自然との触れ合い活動の場

8.5.1 調査事項

調査事項は、表 8.5-1 に示すとおりである。

表 8.5-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 ・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設配置計画 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地東側には、芝生大広場を整備する計画としている。 ・計画地西側には、宅地内広場とそれと連続したオープンスペースを整備し、エゴノキ等を植栽することで、緑のネットワークを形成する計画である。 ・計画地の北側に整備予定の有明親水海浜公園（仮称）と一体的となるよう、計画地内には宅地内広場や南北通路を整備する計画である。

8.5.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.5.3 調査手法

調査手法は、表 8.5-2 に示すとおりである。

表 8.5-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	
調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。	
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2021年11月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2021年11月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2021年11月とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、自然との触れ合い活動の状況の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)、竣工図及び緑化計画図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)、竣工図及び緑化計画図の整理による方法とした。

8.5.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項

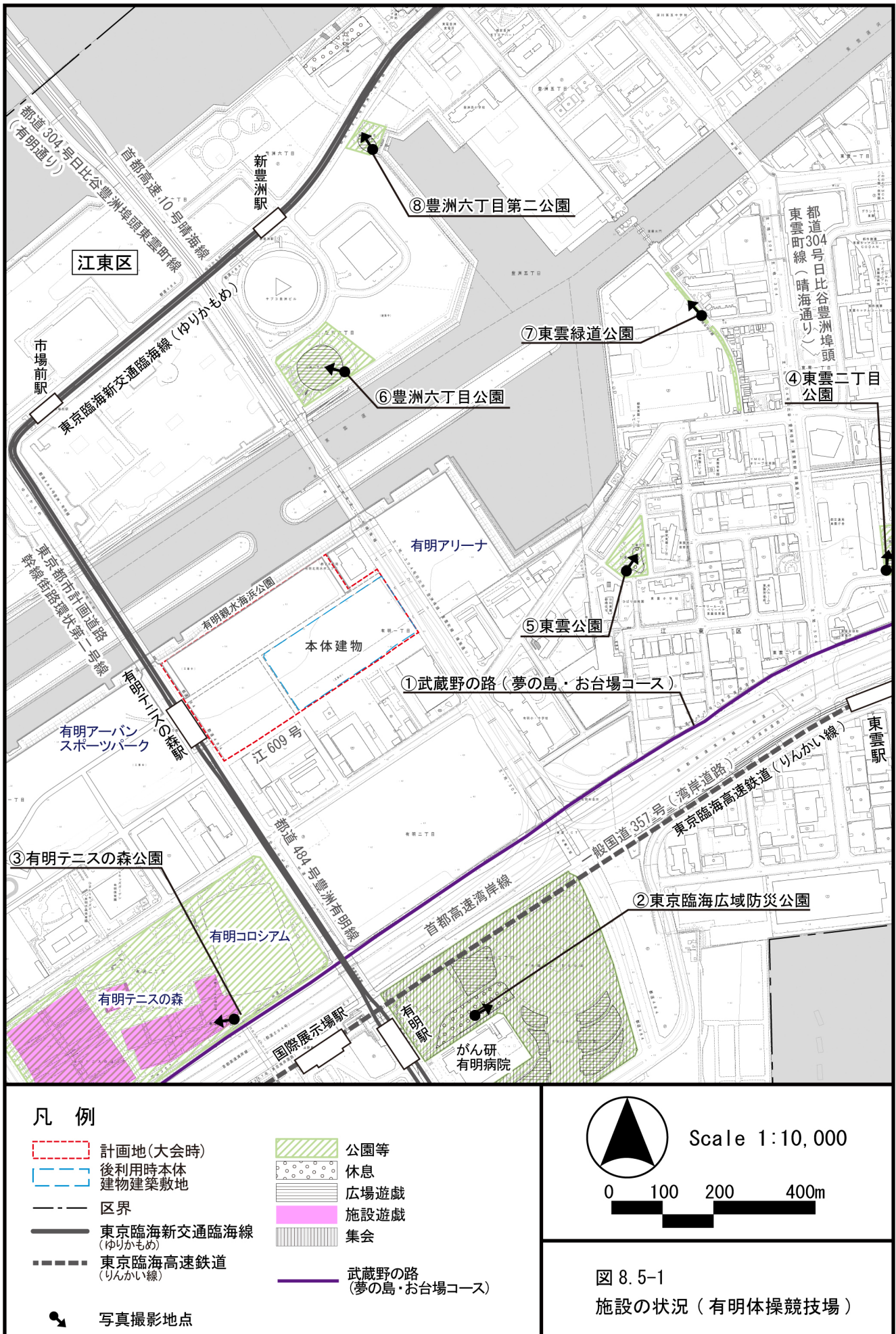
ア. 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

計画地は未利用地であり、計画地内には自然との触れ合い活動の場は存在しない。また、事業の実施により、図 8.5-1、表 8.5-3 及び写真 8.5-1 に示す周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなかった。

事業の実施により、大会後の後利用時には、計画地の東側にはイベントにも利用される近隣住民のための芝生大広場を、計画地西側には、宅地内広場と連続したオープンスペースを整備し、エゴノキ等の植栽を行う。整備完了後には、緑のネットワークによる、広がりのある緑地が形成され、この緑化された空間は新たな自然との触れ合い活動の場として活用されるものと考えられる。

表 8.5-3 自然との触れ合い活動の場の名称及び位置

区分	番号	名称	位置	目的等
遊歩道、 道路	①	武蔵野の路（夢の島・お台場）コース	葛西臨海公園－若洲海浜公園－夢の島公園－辰巳の森海浜公園－東京テレポートタウン－お台場－船の科学館－城南島（約 16.7km）	武蔵野の路は、自然・歴史・文化にふれながら東京を周回する全長 270km の散策路であり、夢の島・お台場コースは東京湾の眺望と共に海浜公園、スポーツ公園、史跡公園が連続する散策コースである。
公園、 児童遊園	②	東京臨海広域防災公園	江東区有明三丁目（約 132,000m ² ）	首都直下地震等の大規模な災害発生時の防災拠点施設。
	③	有明テニスの森公園	江東区有明二丁目（約 163,000m ² ）	芝生と木立の緑豊かなテニスコート中心の公園。
	④	東雲二丁目公園	江東区東雲 2-7-6（約 3,600m ² ）	東雲二丁目に位置する街区公園。遊具やベンチが設置されている。
	⑤	東雲公園	江東区東雲 2-4-17（約 5,600m ² ）	東雲小学校、東雲第二保育園と隣接した街区公園。遊具やベンチが設置されている。
	⑥	豊洲六丁目公園	江東区豊洲 6-2-35（約 16,200m ² ）	東雲運河に隣接する街区公園。芝生広場のほか、遊具やベンチが設置されている。
	⑦	東雲緑道公園	江東区東雲 1-7-4（約 1,500m ² ）	東雲 1 丁目に位置する、道路沿いの細長い街区公園。樹木の間には園路とベンチが設置されている。
	⑧	豊洲六丁目第二公園	江東区豊洲 6-2-1（約 4,000m ² ）	東雲運河に隣接する街区公園。遊具やベンチが設置されている。





①武蔵野の路（夢の島・お台場）コース



②東京臨海広域防災公園



③有明テニスの森公園



④東雲二丁目公園



⑤東雲公園



⑥豊洲六丁目公園



⑦東雲緑道公園



⑧豊洲六丁目第二公園

写真 8.5-1 施設の状況(2021年11月時点)

イ. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

事業の実施により、計画地周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなかった。

事業の実施により、大会後の後利用時には、計画地の東側にはイベント等に利用可能で、近隣住民への貢献にもつながる芝生大広場を、計画地西側には、宅地内広場と連続したオープンスペースを整備し、エゴノキ等の植栽を行う。整備完了後には、緑のネットワークによる、広がりのある緑地が形成され、この緑化された空間により、周辺の自然との触れ合い活動も含めた利用者の利便性が向上するものと考えられる。

2) 予測条件の状況

ア. 施設配置計画

施設配置計画は、「4. 有明体操競技場の計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.3 事業の基本計画 (1) 配置計画」(p.8～9 参照)に示したとおりである。

イ. 緑化計画

緑化計画は、「4. 有明体操競技場の計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.3 事業の基本計画 (7)緑化」(p.14～15 参照)に示したとおりである。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.5-4 に示すとおりである。なお、自然との触れ合い活動の場に関する問合せはなかった。

表 8.5-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	・計画地東側には、芝生大広場を整備する計画としている。
実施状況	計画地東側には、イベント等に利用可能で、近隣住民への貢献にもつながる芝生大広場を整備する。
ミティゲーション	・計画地西側には、宅地内広場とそれと連続したオープンスペースを整備し、エゴノキ等を植栽することで、緑のネットワークを形成する計画である。
実施状況	計画地西側には、宅地内広場とそれと連続したオープンスペースを整備し、エゴノキ等を植栽することで、緑のネットワークを形成する。
ミティゲーション	・計画地の北側に整備予定の有明親水海浜公園（仮称）と一体的となるよう、計画地内には宅地内広場や南北通路を整備する計画である。
実施状況	計画地の北側の有明親水海浜公園と一体的となるよう、計画地内に宅地内広場や南北通路を整備する。

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

計画地は未利用地であり、計画地内には自然との触れ合い活動の場は存在しない。また、事業の実施により、周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなかった。

事業の実施により、大会後の後利用時には、計画地の東側にはイベントにも利用される近隣住民のための芝生大広場を、計画地西側には、宅地内広場と連続したオープンスペースを整備し、エゴノキ等の植栽を行う。整備完了後には、緑のネットワークによる、広がりのある緑地が形成され、この緑化された空間は新たな自然との触れ合い活動の場として活用されるものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。

イ. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

事業の実施により、計画地周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなかった。

事業の実施により、大会後の後利用時には、計画地の東側にはイベント等に利用可能で、近隣住民への貢献にもつながる芝生大広場を、計画地西側には、宅地内広場と連続したオープンスペースを整備し、エゴノキ等の植栽を行う。整備完了後には、緑のネットワークによる、広がりのある緑地が形成され、この緑化された空間により、周辺の自然との触れ合い活動も含めた利用者の利便性が向上するものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。